

# Weekly M&A Review

2009/12/11 #35

---

株式会社ESリサーチ  
(エスネットワークスグループ)



# 目次

---

M&A、ファイナンスに関する最新情報をお送りします。

## 法制度アップデート

- 「金融機能強化法」による地銀への公的資金注入について . . . . . 3

## 今週のディールレビュー

- フューチャーベンチャーキャピタルのエクイティファイナンス . . . . . 4
- イー・アクセスの株式交換によるイー・モバイルの完全子会社化 . . . . . 5

ディスクレイマー . . . . . 6

📧ESリサーチ発行（無料！）メールマガジン登録はこちら📧  
<https://esnet.sslserve.jp/es/mailmagazine/>

## 「金融機能強化法」による地銀への公的資金注入について

- 金融庁は、12月9日に「金融機能強化法」に基づき、東和銀行および高知銀行への資本参加を決定した。  
<http://www.fsa.go.jp/news/21/ginkou/20091209-1.htm>  
東和銀行への資本参加額は350億円、高知銀行への資本参加額は150億円。
- 金融機能強化法は、2008年12月に改正法が成立。  
公的資本の注入により国内地域金融機関の財務基盤を強化する目的であり、改正法成立以来の主な実績（2009年・地域金融機関）は以下のとおり。  
第二地銀が大半を占める。

金融機関名 (決定月・地域)	調達額 (単位：億円)	利回り
北洋銀行（3月・北海道）②	1,000	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.00%
東和銀行（12月・群馬）②	350	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.15%
第三銀行（9月・三重）②	300	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.00%
みちのく銀行（9月・青森）①	200	日本円TIBOR（12ヶ月物）+0.95%
きらやか銀行（9月・山形）②	200	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.15%
高知銀行（12月・高知）②	150	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.10%
南日本銀行（3月・鹿児島）②	150	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.05%
福邦銀行（3月・福井）②	60	日本円TIBOR（12ヶ月物）+1.10%

※①は第一地銀、②は第二地銀を示しています。

# フューチャーベンチャーキャピタルのエクイティファイナンス

ベンチャーキャピタル事業のフューチャーベンチャーキャピタル（8462 大ヘラ）は、第三者割当増資を発表（12月10日）。同社は過去3期営業損失を計上しているが、本ファイナンスで自己資本の増強を図る。

## ✚ 資本提携（第三者割当増資）概要

割当先及び割当株数	マーチャント・バンカーズ株式会社（3121 大2）：1,284株 21LADY株式会社（3346 名セ）：856株 株式会社コーポレート・アドバイザーズ（非上場）：428株 フューチャーベンチャーキャピタル従業員持株会：58株 個人：5,921株  計 8,547株
発行日	2009年12月25日
発行価格	11,670円/株（直近1か月平均価格） ・発表前日終値比▲7.4%
調達総額（資金使途）	99百万円 （ファンドへの出資金：67百万円、運転資金：24百万円、社債償還資金：6百万円、諸経費：2百万円）

出所：12月10日付 フューチャーベンチャーキャピタル「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」

## ショート・コメント

✓業績低迷中のフューチャーベンチャーキャピタルは、今年5月の韓国企業への増資を発表も、6月に中止を発表。

✓今回の日系企業および個人を対象とした増資で、棄損している資本の増強を図る。

✓フューチャーベンチャーキャピタルの株価は、12月11日終値で14,000円（発表前日比+1400円）。マーケットは本ファイナンスを好感か。

# イー・アクセスの株式交換によるイー・モバイルの完全子会社化

ISP向け「ADSL」回線卸業のイー・アクセス（9427 東1）は、モバイル通信事業のイー・モバイル（非上場）との株式交換を発表（12月7日）。現在イー・アクセスはイー・モバイルの筆頭株主（38.3%保有）であるが、本株式交換によりイー・モバイルを100%子会社化する。

## 📌 株式交換概要

（株式交換）完全親会社	イー・アクセス株式会社
（株式交換）完全子会社	イー・モバイル株式会社
株式交換効力発生日	2010年3月31日（予定）
株式交換比率	1.6~1.7：1 イー・モバイル株1株に対して、イー・アクセス株1.6~1.7株を割当交付 （株式交換比率は今後決定）

出所：12月7日付 イー・アクセス「イー・モバイルとの間の株式交換に関する基本合意書締結のお知らせ」

## ショート・コメント

✓イー・モバイルは創業来赤字基調であったが、2009年4~6月期において、EBITDAが黒字に転換。成長期に入ったイー・モバイルの業績を連結業績に取り込むことがイー・アクセスは最善と判断、今回の株式交換に至る。

✓イー・アクセスの株価は、12月11日終値で49,850円（発表前日比▲11,350円）。マーケットは本株式交換がイー・アクセスの株式価値の希薄化につながると判断か。

## ディスクレイマーおよびお問い合わせ先

---

- このレポートは主として情報提供を目的としたものであり、特定の会計・税務処理を勧奨するものではありません。
- 会計上及び税務上の判断については、事前に公認会計士及び税理士、弁護士等の専門家と十分ご相談ください。
- 本レポートの利用すること、またはその情報に依存する上で、直接、間接、状況による場合、特殊または結果的に発生する損失、ダメージ、コスト、クレーム、要請などに対し、株式会社ESリサーチは一切の責任を負いません。
- 当レポート上で紹介されている第三者のウェブサイトに関しては、株式会社ESリサーチはその情報の内容についてコントロールする立場にありません。また、一切の責任を負いません。第三者のウェブサイトの利用を推奨するものではありません。
- 記載された意見や予測等は作成時点のものであり、株式会社ESリサーチはその正確性及び完全性を一切保証いたしません。
- 本レポート記載の事項は今後予告なく変更されることがあります。
- 当該レポートの内容に関する一切の権利は株式会社ESリサーチに帰属し、事前の了承の無い複製又は転送は禁じられております。

### 【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ESリサーチ 公認会計士 高桑 昌也

Tel:03-6826-6222/ [m-takakuwa@esnet.co.jp](mailto:m-takakuwa@esnet.co.jp)

<http://www.esnet.co.jp/es/>